

こうか 市議会 だより

city
assembly
report

Vol. 10

おもな内容

- 一般会計予算 ————— 2～3
- 予算特別委員会 ————— 4～5
- 議案審議 ————— 6～7
- 委員会報告 ————— 8～11
- 各会派による代表質問 — 12～14
- 一般質問(15名が問う) — 15～20
- 特別委員会等の動き — 21～22
- 市民フォーラム ————— 23
- くつろぎこうか [シリーズVol.6] — 24



2人の新入生を迎えて
全校生徒10人の多羅尾小学校

議会に関する詳しい情報は、甲賀市のホームページ <http://www.city.koka.shiga.jp> の市議会だよりの中で議事録を検索することができます。また各支所および各図書館でも会議録の閲覧ができます。

甲賀市民 95,700人 の暮らしにかかわる

平成
19年度

一般会計 327億5千万円 予算 決まる

対前年度 8.5%減

市民ひとり当たりになると 342,215円

予算の特色

厳しい財政状況のなか、「総合計画の推進」と「行財政改革の実践」を基本方針として、「協働」を基調に「人、自然、輝きつづけるあい甲賀」の目標に向けて、健康・福祉・教育における「安心安全のまちづくり」を重点施策としたうえで、前年度比30億5000万円の減（△8.5%）となる緊縮型予算です。

歳出において、経費削減を行い、将来の財政負担を軽減するため普通建設事業費で35億5600万円の減。そのなかでも、「総合計画」の第一歩として経済振興特区推進事業、こどもの安全安心向上事業を創設するとともに、老健法健康診断の基本健診無料化、特定不妊治療費補助制度などに取り組みます。

平成19年度 各会計別の当初予算

会計名	当初予算額	前年度比
一般会計	327億5千万円	△8.5%
特別会計		
国民健康保険	80億1,600万円	17.5%
老人保健医療	79億8,900万円	△1.1%
介護保険	41億3,400万円	5.8%
公共下水道事業	48億1,800万円	△26.6%
農業集落排水事業	10億円	7.2%
土地取得事業	1,560万円	4.0%
野洲川基幹水利施設管理事業	1,818万2千円	55.0%
鉄道経営安定対策基金	590万円	△21.0%
鉄道施設整備基金	4,270万円	12,100.0%
国民健康保険診療所	2,040万円	△20.6%
小計	260億5,978万2千円	△1.1%
企業会計		
病院事業	18億4,615万7千円	△8.5%
水道事業	49億7,917万3千円	△7.4%
小計	68億2,533万	△7.7%
合計	656億3,511万2千円	△5.6%

※企業会計の予算額は、「収益的支出」と「資本的支出」の合算とする。

消防費 12億7,934万円



1人あたり **13,368円**

消防体制の充実と防災のための経費

商工費 3億6,998万円

1人あたり **3,866円**

商工・業業を応援し観光づくりのための経費

労働費 1億9,470万円



1人あたり **2,034円**

勤労者支援などの経費

議会費 2億7,160万円

1人あたり **2,838円**

市民の声を市政に届ける議会にかかる経費

公債費 46億5,159万円



1人あたり **48,606円**

市の借金。償還経費

予備費 5,000万円



1人あたり **522円**

予備費

民生費 81億1,285万円

1人あたり **84,774円**

地域福祉の基盤、健康づくり経費

教育費 37億9,563万円



1人あたり **39,662円**

幼稚園・小中学校、生涯教育にかかる経費

衛生費 37億1,593万円

1人あたり **38,829円**

市民生活と環境保全のための経費

総務費 49億7,242万円



1人あたり **51,958円**

まちづくり計画、財政効率的運用の経費

土木費 34億4,443万円

1人あたり **35,992円**

道路など暮らしの土台を築く経費

農林水産費 18億9,152万円

1人あたり **19,765円**



農林業や地場産業の振興のための経費

平成19年度甲賀市の予算は、緊縮予算ながら、「知行協働の年」と位置付け、官民力を合わせて、行政推進をめざすものです。（知行協働とは知識と行動とが伴ってこそ力が発揮できるという意味）

一般会計予算は327億5000万円で、前年度比8・5%の減。特別会計、企業会計あわせて総額で656億3511万1千円が可決されました。市民一人当たりになると、34万2215円。各目的別に使いみちを表わしました。

●予算特別委員会●

- 委員長 福西 義幸
副委員長 山岡 光広
委員 中島 茂
今村 和夫
葛原 章年
岩田 孝之
友廣 勇
村山 庄衛
辻 重治
伴 資男
酒卷 昌市
木村 泰男
土山 定信
鶴飼 勲
松本 昌市

緊縮財政のなかで...



4日間集中審議

総額32.7億5000万円。緊縮財政のなかで、「総合計画」にもとづき、市民のくらしをどう守っていくのか。予算特別委員会では、13日から16日まで4日間にわたり、各部署に詳細な説明を求め、集中審議を行いました。

歳入では、税制改正によって、個人市民税が11億5800万円、景気向上による法人市民税が4億8500万円の増を見込んでいるものの、「三位一体の改革」で、地方交付税が8億8000万円の減となり、財政調整基金7億円を取り崩しても、なお対前年比30億円という緊縮予算と

なっています。いかにして歳入を確保するのかという点では、市民税、固定資産税などの4税で総額10億円近い滞納をどう解決するのかに議論が集中しました。一方、歳出では、厳しい財政のなか「住民基本健診無料化」「子どもの安全・安心」「経済振興特別事業」などを重点に施策に取り組んでいます。市長が提案する「知行協働」の基軸となる、市民・地域・自治会の振興をどうはかっているのか。各種補助金が削減されるなかで、旧町の枠組みを引き継ぐ各種事業の精査。公有地の有効活用、土地賃借料などの見直しなど課題は山積しているものの、市長の財政健全化にむけた意気を感じるとなっています。予算特別委員会では、今後の財政見直しを含めて、その課題を明らかにしました。

予算特別委員会



市民のくらし、福祉、健康、教育...

主要事業の概要

《一般会計》	事業費(千円)
まちづくり交付金事業	
寺庄駅周辺	349,760
長野地区	100,290
甲賀駅周辺	79,039
スポーツの森整備事業	
陸上競技場とメインスタンド	311,088
道路新設改良事業	
上野大久保線、新町貴生川幹線他	546,253
貴生川駅南駐車場整備事業	
114台収容	20,000
急傾斜地崩壊対策事業	
下野川、下山1号、多羅尾2号	71,000
農村振興総合整備事業	
遊歩道、集落防災安全施設等	210,103
林道開設事業	
蔵骨線、流レ谷線	66,727

《特別会計》	事業費(千円)
公共下水道事業	
泉、野田、勅旨他	1,747,293
特定環境公共下水道事業	
水口台、池田他	717,909
農業集落排水事業	
朝宮、和野嶺、鮎河	348,215
水道事業	
信楽中央監視装置他	1,821,618

主な新規事業

住民基本健診

受診料が無料に

住民基本健診の受診料(現在650円の自己負担)が無料化されます。がん検診などとのセットの場合は、基本健診だけ無料に。

「信楽」活性化へ

経済振興特区事業

昨年末に県の経済振興特区の認定を受け推進事業がスタート。5年計画で「ニュー信楽ブランド」の確立をめざしたシンポの開催や地場産業振興施策。

子どもの安全・安心

家庭・地域・学校連携

虐待やいじめ問題を含めて「子どもの安心・安全」のために、家庭・地域・学校が連携して取り組む活動を支援します。モデル指定。

その他の新規事業

- ◆甲賀中学校バリアフリー化事業
エレベーター、スロープ
4,900万円
- ◆城山中学校グラウンド照明施設事業
照明灯6基
2,880万円
- ◆綾野小学校耐震診断事業
700万円

- ◆水口中央公民館耐震補強事業
800万円
- ◆水口城跡周遊道路整備事業
700万円
- ◆都市計画基本図作成事業
デジタルマッピング、地形図修正他
2,500万円

- ◆固定資産評価基礎データ作成事業
航空写真、地番図等
5,000万円
- ◆特定不妊治療費補助事業
1年10万円を5年間
100万円
- ◆防犯カメラシステム整備事業
綾野小学校付近に設置
200万円

- ◆全国茶まつり開催負担金
11月25日に開催
200万円
- ◆工業会補助
7月発足に向け準備会設置
100万円

- ◆商店街街路灯整備事業補助
西水口商店街街路灯
4000万円



安心・安全の協働のまちづくりに向けて



議案の審議

予算・条例・契約締結 など

96議案を審議

3月定例議会は2月27日召集され、市条例制定案など63件の議案、平成19年度一般会計・特別会計・企業会計の13件の予算案と18年度補正予算案12件並びに議員提案となった条例・規則の制定案4件、請願2件及び意見書案2件が上程され、一般会計予算案は「予算特別委員会」に、さらに特別会計予算案や条例制定案、請願等については、各所管の常任委員会に審査付託され、慎重審議の結果、条例一件を除きすべて原案通り可決決定されました。

協働のまちづくり推進へ 市民活動推進課新設 教育委員会に子ども未来課

予算

- ◆平成19年度甲賀市一般会計予算
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度甲賀市国民健康保険特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 中西弥兵衛
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度甲賀市介護保険特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 野田 卓治
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度甲賀市老人保健医療特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 野田 卓治
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度甲賀市農業者集落排水事業特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度甲賀市土地取得事業特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度甲賀市鉄道経営安定対策基金特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度甲賀市鉄道施設整備基金特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆平成19年度甲賀市国民健康保険診療所特別会計予算
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」

条例の制定

- ◆甲賀市副市長定数条例の制定（総務常任委員会付託）
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市窓口センター条例の制定（総務常任委員会付託）
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市職員の給与の特例に関する条例の制定（総務常任委員会付託）
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市職員の給与の特例に関する条例の制定（総務常任委員会付託）
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市職員の給与の特例に関する条例の制定（総務常任委員会付託）
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」

条例の一部改正

- ◆甲賀市行政組織条例の改正
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市支所設置条例の改正（総務常任委員会付託）
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市支所設置条例の改正（総務常任委員会付託）
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市支所設置条例の改正（総務常任委員会付託）
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」

甲賀市職員の特殊勤務手当てに関する条例の改正

- ◆甲賀市職員の特殊勤務手当てに関する条例の改正
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市職員の特殊勤務手当てに関する条例の改正
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市職員の特殊勤務手当てに関する条例の改正
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」

甲賀市特別職報酬等審議会条例の改正

- ◆甲賀市特別職報酬等審議会条例の改正
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市特別職報酬等審議会条例の改正
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」
- ◆甲賀市特別職報酬等審議会条例の改正
山岡 光広
賛成討論 伴 資男
「賛成多数にて可決」

人事

- ◆人権擁護委員の推薦につき意見を求める事
黄瀬忠幸氏（信楽町）
「全員賛成にて可決」
- ◆甲賀市議会議員の報酬等に関する条例の改正（議員提案）
議員報酬を減額するもの。
以上21件
「全員賛成にて可決」
- ◆甲賀市企業立地促進条例の改正
例の改正
甲賀市奨学資金給付条例の改正
例の改正
甲賀市水道事業給水条例の改正
例の改正
甲賀市議会委員会条例の改正（議員提案）
の改正

指定管理者

- ◆水口児童クラブ他15施設
指定管理者の指定
「全員賛成にて可決」
- ◆野洲川児童公園の指定
指定管理者の指定（産業建設常任委員会付託）
「賛成多数にて可決」

契約締結

- ◆水口スポーツの森陸上競技場造成工事契約の変更
変更額 4,374万1,950円
契約額 2億3,568万1,950円
相手方 株式会社三東工業社
「全員賛成にて可決」
- ◆勸旨大垣外地区管渠築造工事契約
契約額 2億7,058万5,000円
相手方 株式会社三東工業社
「全員賛成にて可決」
- ◆市道次良九郎線道路改良工事契約
契約額 2億7,058万5,000円
相手方 株式会社三東工業社
「全員賛成にて可決」

契約締結

- ◆西村建設株式会社甲賀支店
相手方 西村建設株式会社
契約額 1億9,845万円
「全員賛成にて可決」
- ◆あいこうが市民ホール
整備工事契約
契約額 3億2,340万円
相手方 株式会社フジサワ建設
「全員賛成にて可決」
- ◆奥山田線ほか六路線の認定
認定
「全員賛成にて可決」

請願

- ◆日豪EPA交渉に関する請願（産業建設常任委員会付託）
「全員賛成にて採択」
- ◆労働法制を改善するのではなく、改善するよう国に求めてください（請願）（産業建設常任委員会付託）
「全員賛成にて採択」
- ◆反対討論 辻 重治
△賛成討論 小松 正人
「賛成少数により不採択」

補正予算

- ◆平成18年度甲賀市一般会計補正予算（第7号）
最終補正のため、事業費の確定による精査及び実績見込みによる増減等により、予定していた財政調整基金繰入金の全額繰り戻しと教育振興基金繰入金の減額措置を行うとともに、歳出では、国の補正予算による信楽中学校耐震補強工事・城山中学校大規模改修事業費を計上し、歳入歳出2億2,465万7千円を減額し、予算総額を3億6,740万3,277千円とするもの。
「全員賛成にて可決」

平成18年度特別会計・企業会計補正予算	
●国民健康保険特別会計（第4号）	追加 6,521万2千円 総額 75億2,813万2千円
●介護保険特別会計（第3号）	減額 1,228万4千円 総額 39億5,563万7千円
●公共下水道事業特別会計（第3号）	減額 6,918万4千円 総額 66億8,328万1千円
●農業集落排水事業特別会計（第3号）	減額 53万円 総額 9億3,630万5千円
●土地取得事業特別会計（第2号）	追加 285千円 総額 5,574千円
●野洲川基幹水利施設管理事業会計（第2号）	減額 605千円 総額 1,912万4千円
●鉄道経営安定対策基金特別会計（第2号）	追加 448千円 総額 1,091万5千円
●鉄道施設整備基金特別会計（第2号）	追加 469千円 総額 881万9千円
●国民健康保険診療所特別会計（第2号）	減額 160万円 総額 2,813万円
●病院事業会計（第2号）	追加 164万1千円 総額 18億9,564万1千円
●収益的収支	追加 766万5千円
●資本的収入	追加 766万5千円
●資本的支出	減額 1億7,052万6千円
●水道事業会計（第4号）	減額 66万4千円 総額 26億4,027万7千円
●収益的収入	追加 965万7千円
●収益的支出	追加 965万7千円
●資本的収入	減額 2億3,942万2千円
●資本的支出	減額 1億7,052万6千円
●総額	23億9,503万円

二件の意見書を採択

- ◆地域医療充実に向けた医療確保を求める意見書
- ◆日豪EPA（経済連携協定）交渉に関する意見書

民生常任委員会

市民の生活と環境、福祉に関わる委員会です



委員会審議

付託議案

健康増進に向け 国保・老人・介護保険・診療所・市病院など特別会計

民生常任委員会では、国民健康保険、老人保健医療、介護保険、国保診療所、市病院事業会計5議案が付託され、3月19日、22日に慎重に審議しました。

国民健康保険特別会計
制度の性格上高齢者、低所得者の加入割合が高く構造的な問題を抱え、厳しい財政状況にある中、予算総額前年度比14.7%増とするものです。健康保険証のカード

老人保健医療特別会計
後期高齢者医療制度が平成20年度より施行、19年度は一般会計で計上、20年度から特別会計を立ち上げる。

介護保険特別会計
予算総額前年度比5.8%増、高齢化が進み、保険給付も増大し、

国保診療所特別会計
又介護認定審査も拡大、審査委員を現状の28人から35人に増員。

甲賀市病院事業会計
17・18年度にわたり、経費の節減等経営改善が図られました。19年度には地域医療における水口市民病院の方向付けをすべく、マスタープランを策定する予算が計上されています。

- 国民健康保険特別会計
 - ・総額80億1600万円。(前年度比17.5%増)
 - ・国保加入は、15950世帯。(加入者は、31767人)
 - ・一般会計から4億548万3000円繰入。
 - ・保険証のカード化(20年度)のためのシステム改修。
 - ・出産育児一時金は、30万円から35万円に改正。

- 老人保健医療特別会計
 - ・総額79億8900万円。(前年度比1.1%減)
 - ・平成20年4月から75歳以上の高齢者を対象とした「後期高齢者医療制度」が、県下一本の広域連合としてスタート。今年度は、その準備のための経費も計上。

- 介護保険特別会計
 - ・総額41億3400万円。(前年度比5.8%増)
 - ・第一号保険者は、19256人。うち要介護(要支援)認定者は、2697人。
 - ・一般会計から5億7995万5000円繰入。
 - ・増える認定審査件数に対応するため審査員を増員。

- 国民健康保険診療所特別会計
 - ・総額2040万円(前年度比20.6%減)
 - ・一般会計から201万9000円繰入。

- 病院事業会計
 - ・水口市民病院の稼働率は51.2%。信楽中央病院は70%。
 - ・医師不足により、入院外来の減少。
 - ・本年度マスタープラン策定費に、415万円計上。



甲賀市デイサービスセンター

**介護サービスの
実態を現地視察**
地域密着型介護サービスの実態調査を3月19日実施しました。

総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です

付託議案

市民窓口センター、支所設置条例の改正 土地取得事業、信楽高原鉄道助成に 関する特別会計など

3月19日に委員会を開催し、担当課に資料の提出と説明を求め、3件の特別会計予算と5件の条例案について慎重審査しました。

【特別会計予算】

甲賀市土地取得事業特別会計
土地を先行取得し、事業を円滑に推進するものです。
予算額1560万円



委員会審議



信楽高原鉄道

甲賀市鉄道施設整備基金特別会計
信楽高原鉄道の運用益金の積立と鉄道施設整備に充当する会計です。
予算額4270万円

以上の3特別会計予算については、全会一致で可決すべきものと決定しました。

甲賀市鉄道経営安定対策基金特別会計
信楽高原鉄道経営の助成を行う会計です。
予算額590万円

【条例】

甲賀市副市長定数条例
地方自治法の一部改正に伴い、副市長の定数を一人とするもので、助役が副市長となります。

甲賀市市民窓口センター条例

市民への行政サービスの向上を図るため、行政組織機構の再編に伴い、水口庁舎内に市民窓口センターを設置するものです。

甲賀市公有林野官行造林条例

合併に伴い暫定条例として引き継いだ土山町の公有林野官行造林条例を甲賀市の条例として制定するものです。

特に問題もなく、全会一致で可決すべきものと決定しました。

甲賀市職員の修学部分休業に関する条例

市職員が無給の部分休業制度を活用して、自主的に大学院等に就学し、能力開発を行うことを支援するためのものです。委員全員が本案に賛同するもの、審議の中で、修学部分休業の申請や承認について、規則が必要で、規則委任の条文を入れるべきではないかとの意見が出されました。

甲賀市支所設置条例の一部を改正

効率的、効果的な行政運営を図るため、水口支所を廃止するものです。

この改正と連動して支所機能の再編が含まれていることに対し、再編してよくなるのか、地元の見解がどう反映されるのか、拙速ではないか等の質問が出されました。執行部からは、職員適正化計画による再編で、横断的に仕事を進め、量から質へ転換するとの答弁があり、これに対し、地



甲賀市市民窓口センターが4月より設置

以上の2件については、賛成多数により、原案通り可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

農業・観光振興・交通・上下水道の整備に関わる委員会です



委員会審査

付託議案
公共下水道会計や
指定管理者の議決

当委員会に付託された3特別会計予算案1事業会計予算案の他、議案1件、請願2件を審議しました。

公共下水道事業特別会計
市内各地域における公共下水道の整備を進めるとともに、施設の維持管理費用を計上したものです。

農業集落排水事業特別会計
市内各処理施設等の維持管理費用を計上したものです。

水道事業会計
給水戸数3万戸、年間給水量を1350万5000立方メートルと定め、本年は、甲賀市中央監視システムの統合をはじめ、老朽管の布設替工事、公共下水道工事に伴う移送工事等であり安全安心の水道水供給事業を行うための会計です。

以上、4件の予算案審議にあたり、それぞれの担当課から説明を受け、

持管理費用を計上し、本年度は信楽町朝宮地域においての管路布設工事(3400m)を予定しています。

野洲川基幹水利施設管理事業特別会計
野洲川ダムと水口頭首工に係る施設の管理事業を行うための予算であり、歳出については野洲川土地改良区へ委託料等です。



3万人を超える利用者がある野洲川児童公園

野洲川児童公園の指定管理について
本議案は、野洲川右岸にある「野洲川児童公園」の指定管理について、委員の活発な質疑、審議を行ない、採決の結果、各議案とも全会一致で可決すべきものと決定しました。

- ① 施設の名称 甲賀市野洲川児童公園
- ② 指定管理者 滋賀県草津市大路三丁目5番64号 日本観光開発株式会社 代表取締役 吉武昭隆
- ③ 指定期間 平成19年4月1日から平成22年3月31日まで

当委員会では議案審査において、指定管理者の選定については、選定委員会の審査により決定された指定管理者であることを確認した後、審査を行ないました。

甲賀市都市計画マスタープラン(素案)について

所管事務調査(2月21日)

「甲賀市都市計画マスタープラン」は、都市計画法にもとづき甲賀市の地域特性や町づくりの課題に対応した整備方針を定めるものです。計画の策定にあたっては、市民参加による都市計画策定審議会で総合的な計画策定についての審議が行なわれました。また、市民アンケート調査、パブリックコメントを実施し、市民意向を反映したものとなっています。

当委員会では、担当課より説明を受けて、委員それぞれの立場から「明日の甲賀市」づくりの参考となるように、意見・提言をさせていただきます。

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

19年度 教育費予算は37億9500万円

主な事業は・・・

特色ある学校づくり推進事業	744万円	生活指導ふれあい相談事業	280万円
① こうかの学び向上事業	210万円	外国人児童生徒教育支援員の設置	432万円
ALT設置事業	3248万円	小中学校通学補助	1236万円
私立幼稚園振興・就園奨励補助	2628万円	児童生徒就学援助事業	2700万円
② 甲賀中学校バリアフリー化事業	4900万円	就学奨励事業	270万円
③ 綾野小学校耐震診断事業	700万円	④ こどもの安心・安全向上事業	420万円
ことばの教室事業	1270万円	青少年育成市民会議活動補助	360万円
教育相談事業	1063万円	子ども会活動補助	150万円
適応指導事業	760万円	青少年育成推進員の設置	950万円
特別支援事業	303万円	家庭教育指導員の設置	338万円
ケアサポーター派遣事業	227万円	少年センター事業	833万円

所管事務調査

市内5館 図書館の実態



市内で利用度の高い甲南図書館

文教常任委員会では、甲賀市内の5館の市立図書館の運営状況について調査をしました。

その結果について

- ① 館別図書費予算
- ② 館別蔵書冊数
- ③ 館別貸出冊数
- ④ 館別年間利用者数

④ 館別年間利用者数についてはお知らせしませんが、また検討課題として図書検索システムの一元化の導入の必要性を感じました。

平成18年度予算(単位:千円)

	水口図書館	土山図書館	甲賀図書情報館	甲南図書館	信楽図書館	合 計
資料費(a+b+c+d)	12,557	9,898	10,038	11,745	9,801	54,039
a 図書費	11,300	7,800	8,200	9,600	8,400	45,300
b 雑誌新聞費	1,157	1,098	1,438	1,745	1,301	6,739
c 視聴覚資料費	100	1,000	400	400	100	2,000
d その他の資料費	0	0	0	0	0	0

平成19年2月末現在(単位:冊)

	一般書	児童書	図書小計	AV資料	雑誌	合 計
水口図書館	69,115	36,853	105,968	256	5,409	111,633
土山図書館	72,777	33,575	106,352	483	22,066	128,901
甲賀図書情報館	76,530	31,211	107,741	989	16,873	125,603
甲南図書館	52,800	25,111	77,911	1,645	9,742	89,298
信楽図書館	94,486	32,098	126,584	770	10,277	137,631
合 計	365,708	158,848	524,556	4,143	64,367	593,066

平成18年3月～平成19年2月(単位:冊)

	一般書	児童書	図書小計	AV資料	雑誌	合 計
水口図書館	105,750	91,162	196,912	1,028	11,120	209,060
土山図書館	44,302	29,183	73,485	-	-	73,485
甲賀図書情報館	77,520	46,811	124,331	12,865	6,447	143,643
甲南図書館	110,482	83,566	194,048	16,424	19,433	229,905
信楽図書館	76,654	45,158	121,812	687	12,317	134,816
合 計	414,708	295,880	710,588	31,004	49,317	790,909

学 校 名	卒業者数
谷 木	118
柏 口	28
水 野	114
綾 生	71
貴 谷	87
伴 東	61
大 野	42
土 山	36
山 内	5
山 河	11
山 原	60
大 日	35
油 山	16
佐 山	74
甲南第一	28
甲南第二	5
甲南第三	33
甲南中部	113
希望ヶ丘	87
信 楽	34
雲 井	23
小 原	9
朝 宮	4
多 羅	1094
尾 尾	
合 計	1094

平成19年3月 甲賀市立小中学校卒業者数

学 校 名	卒業者数
水 口	252
城 山	152
土 山	106
甲 賀	119
甲 南	231
信 楽	133
県立水口東中	79
合 計	1072



信楽小学校卒業式

④ 館別年間貸出者数 (単位:人)

	平成18年3月～平成19年2月
水口図書館	43,716
土山図書館	13,084
甲賀図書情報館	30,481
甲南図書館	50,615
信楽図書館	29,694
合 計	167,590



問 平成19年度予算における財政健全化に向けた本年度の取り組みについて伺う。

市長 三位一体改革の影響や合併時の激変緩和による財源補填などにより、このまま策を講じなければ、平成19年度以降、毎年大きな財源不足が見込まれる。将来にわたって持続可能な行政経営ができるよう平成21年度までの財政健全化を図る方向や数値目標を「財政健全化指針」に示した。それにそって、予算編成において人件費の削減をはじめ、事務的経費、物件費や効果等の見直しによる補助費の削減を個別具体的に検討するとともに投資的経費の見直しを図ることにより、歳入規模に見合った歳出

に心がけ、健全財政確立の第一歩になるよう努めた。しかし、単に削減という減量施策だけに陥ることなく「より有効に使うための削減」として職員力を結集し、最善を尽くし、市の中心には常に市民がおいでになる「市民が主体の甲賀市政」を念頭に行政運営の推進に努めていく。

問 市民との協働を目的とした平成19年度組織機構改革について伺う。

市長 地方分権が進展する今、行政に求められていることは、市民に対し、いかに質の高いサービスを提供するかだと思ふ。市民と行政との新たな関係を探し、協働による市政の推進を図るために市民活動推進課を新設



支所は「地域窓口課」に統合

することにした。また、支所における窓口を統合し「地域窓口課」としての機能を低下させることなく、区・自治会および市民活動の支援に努めていく。さらに、市民が主体となった町づくりを実現のため、市民との積極的な関わりが必要であり協働に対する職員の意識づくりに取り組んでいる。

問 格差社会の広がりや生活保護の現状は。逆立ち税制の中、税負担の多い人に光をあてよ。

市長 マスコミも大きく取り上げているが、いかなる差をもって格差とするか、とらまえたも様々である。最低生活を営む施策については、時間がかかっても解決していかねばならない。

健康福祉部長 生活保護は、県下市の中では低水準。申請は、病気や離婚、無年金者が多い。今後は増加傾向が予想される。

市長 住民税、国保税など増税感はない。基本健診受診料の無料化や特定不妊治療への補助などに努力した。

問 中止の声が多い。県政の流れが変わりつつあるがどう見るか。

市長 新駅は、基本協定などあり、総合的に判断。県民は、負担の軽減を選択肢として求めている。促進協議会のなかで、早い時期に結論が得られるよう対応する。

問 総合計画や同和問題、機構改革など今後の市政のあり方を問う。

市長 市民は、「健康と福祉、安全、安心のまちづくり」への意識が高い。同和問題は、おおむね完了し、一定の成果だが、心理的差別は今なお後を絶たない。部落差別がある限り、解決のため施策を推進する。●大きな支所、小さな本庁を議論してきた。地域性を持つ支所として、総合的一体的窓口業務の推進で



備品の利活用を（旧甲南町議場）

問 19年度予算について三位一体の改革や合併後の未活用市有地・備品など活用を図れ。

市長 評価に値することもあるが、改善点もあり地方6団体で要望していく。●遊休地処分について8千万円を計上。今後整理をして処分する。●備品は、利用と処分を検討中。●油日ニュータウンは、一括または個別分譲で完売に向け取り組む。

財政健全化と市民との協働

清風クラブ



葛原 章年

今後の市政のあり方と予算を問う

日本共産党



安井 直明

各党派による 代表質問



平成19年 第2回甲賀市議会定例会代表質問

平成19年3月7日

順番	議席番号	氏名	会派名	質問事項
1	25番	葛原 章年	清風クラブ	1 平成19年度予算について
				2 総合計画理念“人、自然、輝きつづけるあい甲賀”の実現に向かって
				3 市民と行政との協働について
2	21番	安井 直明	日本共産党 甲賀市議員団	1 格差社会の広がりをどう考えるか
				2 県政の流れが大きく変わった、この流れをどう見ているか
				3 これからの市政のあり方を問う（総合計画、同和問題と機構改革など）
				4 平成19年度予算について
3	3番	松本 昌市	公明党甲賀市議員団	1 平成19年度施政方針演説について
4	22番	友廣 勇	正政会	1 過大見積りについて
				2 財政再建団体での責任について
				3 マニフェストと進捗状況の報告について
				4 事業仕分けについて
				5 経済特区の支援について
				6 協働に必要なものについて
				7 平成18年度の入札状況と入札制度の改革について
				8 スローガンについて

市政を問う

一般質問

15人の議員が登壇

◎より詳細な内容はインターネットでご覧になることができます。

平成19年 第2回甲賀市議会定例会一般質問

平成19年3月9日・12日

順番	議席番号	氏名	質問事項
1	5番	鶴飼 勲	1 本市におけるユニバーサルデザインの考え方について
			2 「あいこうかこども駆け込み寺」の創設について
			3 税源移譲に伴う行政の課題について
			4 水口スポーツの森多目的グラウンドの荒天時の利用実態について
2	6番	土山 定信	1 クリーンセンター滋賀について
3	23番	白坂萬里子	1 学校耐震化の加速促進を
			2 特別支援教育支援員の拡充を
			3 「スクーリング・ケアサポーター事業」について
4	17番	辻 重治	1 後発医薬品の使用促進について
5	9番	藤井 克宏	1 国際陶芸産業都市特区の推進について
			2 商工会の運営について
			3 紫香楽宮閑連遺跡群の保存活用について
6	20番	中西弥兵衛	1 (仮) 甲賀市工業会設立に向けての取組み状況と今後の商工行政について
			2 食育教育への取組み状況と市内学校給食費の滞納状況とその対策について
7	1番	山岡 光広	1 新幹線新駅建設費負担金について
			2 市民税、国保税、保育料などの滞納解決と多重債務被害対策について
			3 障害者自立支援法と「甲賀市障がい福祉計画」について
			4 軽度者に対する福祉用具貸与にかかる支援策について
8	7番	木村 泰男	1 甲賀市の観光資源の活用とネットワーク化について
			2 甲賀市都市計画マスタープランと市民の個別要求について
			3 甲賀市奨学資金の給付条件の緩和について
9	18番	河合 定郎	1 「環境保全型農業」への転換システムの構築について
			2 「獣害対策係」設置一年。その成果は…
10	13番	加藤 和孝	1 高齢者などに優しい町づくりについて
			2 携帯電話版ホームページの早期開設について
			3 住民基本台帳カードの多目的活用について
11	19番	村山 庄衛	1 少子化のなかの学校統廃合を市はどのように対処するか
12	2番	林 勝彦	1 全国スポーツレクリエーション祭について
			2 スポーツの森施設の充実について
13	28番	橋本 律子	1 文化芸術施設・行政の一元化
			2 住民参画で特色あるまちづくり
14	27番	中島 茂	1 産業廃棄物処理施設の建設とそれに伴う地域振興策について
			2 人事考課における技術取得者の評価について
15	11番	小松 正人	1 行政財産である郡民会館 通称「鹿深ホール」は適正に利活用されているのか
			2 甲賀市小集落改良住宅の入居審査を明確にし、空室のある場合は、住宅困窮者に開放せよ

各会派による代表質問

広告事業の検討と市税等の確保を

公明党



松本昌市

問 ホームページ、広報誌等への広告の掲載を
市長 近年、公有財産に民間業者等の広告を掲載して新たな財源を確保する「広告事業」が全国的に注目を集め、県内自治体においてもその動きが広がっている。市が保有する公有財産、物品や印刷物等への広告掲載に関する検討組織を立ち上げ、実施に向け検討を進めている。

問 市税や各種使用料、給食費の滞納対策は
市長 未納額は市税9億9000万円、国保税6億1000万円、水道など使用料は約7億円、合計23億円を超える。滞納の理由は生活困窮、企業の業績不振、行政不信、悪質者等。収める意のある方には分納

問 妊産婦無料健診の助成を含めた少子化対策の国の財政措置が大幅に拡充。無料健診の回数を増やす考えは
健康福祉部長 甲賀市は県の統一事業として無料健診を2回実施している。国からの指摘事項もあり、妊婦健診の望ま

問 新年度予算で「過大見積りをしない」とは、本来確保しなければならぬ納税額の確保を避け、これまでの滞納を放置することを宣言するのか。
市長 過年度分のため、納付が流動的であり、過大な計上を避け確実性の高い納付のみを予算計上額とした。本年度末の個人市民税の滞納額を約2億5000万円、法人市民税約2000万円と、市税4税合せた滞納額は9億9000万円と見込んでいる。

問 市長は選挙で「無駄を省いた行財政改革」をマニフェストに掲げたが、着任時からの市債の増加額について聞きたい。
市長 市長は選挙で「無駄を省いた行財政改革」をマニフェストに掲げたが、着任時からの市債の増加額について聞きたい。

問 市長は選挙で「無駄を省いた行財政改革」をマニフェストに掲げたが、着任時からの市債の増加額について聞きたい。
市長 市長は選挙で「無駄を省いた行財政改革」をマニフェストに掲げたが、着任時からの市債の増加額について聞きたい。



甲賀市信楽保育園

選挙マニフェストと進捗状況の報告を

正政会



友廣 勇

問 新年度予算で「過大見積りをしない」とは、本来確保しなければならぬ納税額の確保を避け、これまでの滞納を放置することを宣言するのか。
市長 過年度分のため、納付が流動的であり、過大な計上を避け確実性の高い納付のみを予算計上額とした。本年度末の個人市民税の滞納額を約2億5000万円、法人市民税約2000万円と、市税4税合せた滞納額は9億9000万円と見込んでいる。

問 市長は選挙で「無駄を省いた行財政改革」をマニフェストに掲げたが、着任時からの市債の増加額について聞きたい。
市長 市長は選挙で「無駄を省いた行財政改革」をマニフェストに掲げたが、着任時からの市債の増加額について聞きたい。

問 市長は選挙で「無駄を省いた行財政改革」をマニフェストに掲げたが、着任時からの市債の増加額について聞きたい。
市長 市長は選挙で「無駄を省いた行財政改革」をマニフェストに掲げたが、着任時からの市債の増加額について聞きたい。



選挙期間中に発行された公報



ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

健康福祉部長
抑制対策のひとつとして注目し、医療費の適正化、患者負担の軽減の観点から、期待は大きく、市民の皆様が、啓発に努めていく。特に情報提供がジェネリック



くすりの町をPR

問 国民医療費の抑制対策として、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用は、重要と考える。これの使用促進の考え方と、市民病院での使用方針と使用の状況について伺う。

辻 重治 議員

Q 後発医薬品の使用促進を

A 地元医薬品など積極的利用

医薬品の普及に影響するものと考えます。
病院事務部長 医療を提供する病院においても、経費節減に効果があり、医局・薬局との連携で使用促進に努力している。使用にあたっては、患者さんへ十分な説明と理解を得て使用促進をしている。市民病院では、経営改善アクションプログラムにおいて取り組み利用拡大に努めている。現在の採用比率は、品目数6・2%である。市内で製造された医薬品も含まれている。



陶都信楽香港展覧会

問 国際陶芸産業都市特区の推進体制と予算対応は。

藤井克宏 議員

Q 経済振興特区の推進体制は

A 庁内に「特区推進室」を設置

市長 経済振興特区事業を円滑かつ確実に進めていくため、庁内に「特区推進室」を設置するとともに、支所幹部職員も特区担当に任命し、積極的な事業推進を図る。予算的には、特区事業ごとに支援策を協議し、最大の効果が得られるよう国・県の補助制度を活用しながら市の支援を行う。

問 昨年11月からの幹部職員による進出企業訪問の結果は

中西弥兵衛 議員

Q 工業会設立の目的は

A 交流を通じたまちづくりに期待

問 現在モノづくりの企業集団としての（仮）工業会設立に向け準備中と聞かされたがその目的と見通しは



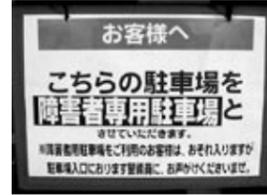
工場建設現場

一般質問

Q 身障者等に対する支援策は

A 相談員の増員と検討機関の設立を検討

鶴飼 勲 議員



利用者のマナーアップが要求される身障者専用駐車場

市長 ノーマライゼーションの理念のもとに誰もが住みなれた地域で暮らし続けられるためにも、ユニバーサルデザインの考え方は基本になる大切な事と認識している。

問 身障者等に対する、市民・事業所・行政による普及啓発活動、施策検討を行う機関設立に向けた支援策の現状は。

問 産業廃棄物処理場の下流は、野洲川であり、つり公園を作るとか、市独自の水質管理体制の計画はないのか

土山定信 議員

Q クリーンセンター滋賀の監視は

A 市独自での水質検査を実施



汚れた雨水を下流に流さないためのダム

問 国においては、積極的な予算措置をもって短期間で学校教育施設の耐震化を図ることを目指しているが、市内の学校の耐震化の実態と今後の計画は。

白坂萬里子 議員

Q 学校耐震化の加速促進を

A 積極的に取組みを推進する



貴生川小学校の新校舎

問 昨年6月、学校教育法が改正。障害をもつ児童生徒へのきめ細かな教育を行うことが明確に位置付けられたことに対して、その取組みは。



一般質問

山岡光広 議員

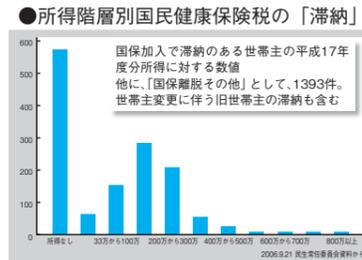
Q 滞納解決へ抜本的な対策を

A 非常に危機的な状況である

焦点となっている新幹線新駅建設問題、深刻な問題となっている税金などの「滞納」問題と多重債務被害対策、障害者自立支援法による利用者負担軽減と「甲賀市障がい福祉計画」について、介護の軽度者に対する福祉用具貸与について、市民の声や実態をグラフ化して、改善と市の対応をた

問 市民税、固定資産税、国保税など多額の滞納解決は急務だか、問題はなぜ滞納になっているのか、分析して個別・具体的な対策が必要。グラフで明確なように滞納の多くは、低所得者層。格差の拡大が滞納を広げている。

問 多重債務被害の解決は税の滞納解決につながる。相談窓口と連携を。市民環境部長 消費生活相談のなかで対応、各課とも連携して取り組む。



問 一般会計で9億9000万円、国保税で5億4700万円。合併後増えている。税の公平化のためにも収納率をあげるための対策を講じている。

Q 甲賀の観光開発を

A 民間活力による活性化

木村泰男 議員

全国発信できる観光資源を持つ甲賀市。第二名神開通で観光の幕が開く！

問 ①旧町の観光協会間や伊賀市の観光とを結び観光開発は

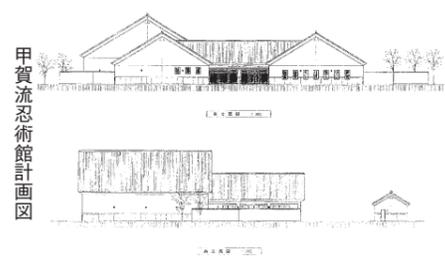
②甲賀流忍術の観光に、忍術館などの拠点整備が必要では

③「忍者の里甲南インナー」等の名称でPRを

④インターにモニユメントや観光案内板の設置は

産業経済部長 ①市観光協会等で信楽焼・忍術・宿場の3本柱により観光客誘致のイベントを実施。甲賀市観光協会の組織統一で民間活力による観光

の活性化を推進。②既存施設の活用とイベント開催でPRを図る。③愛称であり道路標識としての名称に不適。現在の仮称が本名称となる。④サービスエリアやインナーを管理する会社と協議していく。



甲賀流忍術館計画図

問 都市計画マスタープランに、多様な市民の声をどう反映させるのか。

建設部長 住民説明会や公聴会で理解を得られるよう進める。

問 市奨学資金の給付条件を緩和できないか。教育長 他市と比較しても適当な水準である。

河合定郎 議員

Q 有害鳥獣の駆除急げ

A 地域住民との協働で

問 深刻化する獣害被害に、市では昨年「鳥獣害対策係」の専門部署を設置し、対策に努めているが、その成果と今後の取り組みは。

産業経済部長 地域住民や市内猟友会との連携のもと、防除・駆除事業に取り組んでいる。甲賀町隠岐や信楽町小川地区では、地域住民と協働で「なぜそこに獣害が起きるのか？」の根本原因を、環境調査を実施し、現状の認識と防除方法を検討している。

19年度には、集団化している甲賀A群の猿に、甲賀市が発信機を取り付け調査を行なう予定である。



集団化した猿の群れ

問 環境保全型農業、有機農業に対する甲賀市の基本的な考えは。また今後の農業振興は「産・官・学」の連携で一体化した支援が必要ではないか。

産業経済部長 環境負荷を軽減する農業生産は重要であり、化学的に合成された肥料及び農薬中心の農業からの脱却を支援する。「産・官・学」連携は市内企業でもできており、農業全般についても、社会や自然環境の面でも、連携は大変重要なことと考えている。



地域が一体となって(甲賀町隠岐で)

加藤和孝 議員

Q 昼間独居老人に緊急通報を

A 弾力的に運用していく

問 ひとり暮らし老人等のための「緊急通報システム」につき、外部協力員は制度利用の容易性を優先させ2名でもよいのでは。昼間独居老人にも利用対象を拡大すべきではないか。

市長 基本的に3人の協力員をお願いしているが、強制はしていない。昼間独居老人については、現時点では対象とする予定はないが、制度の弾力的な運用を加味しながら検討していく。

問 大規模地震に備え、ひとり暮らし老人等の高齢者世帯を対象に家具転倒防止器具や取付工事に

対し助成する自治体が増えている。本市でも助成制度を検討すべきではないか。



家具転倒防止器具の展示

総務部長 高齢者等で家具の固定作業が困難な世帯も多くあることから、高齢者世帯等の防災支援のあり方について、先進地の事例を研究し、福祉分野とも十分調整すると共に、地域等との関わり

を持ちながら、よりよい支援策を検討していく。他に、携帯電話版ホームページの早期開設、住民基本台帳カードの多目的

の活用についても質問しました。

Q 学校統廃合への対処は

A 「適正規模検討委員会」を設置

村山庄衛 議員

問 学校の「適正規模」とは

教育長 「学校教育法施行規則」では小中学校とも40人以下を一学級とし12学級以上18学級以下を標準の学級数としている。この基準によると市内23小学校及6中学校の状況は適正規模

に入る学校が小学校では8校、中学校では1校となっている。11学級以下の「小規模校」は小学校で14校ありこのうち5学級以下の過

少規模校が1校となっている。中学校では3校が小規模に該当する。また19学級以上の「大規模校」は小・中学校とも各1校となっ

ている。11学級以下の「小規模校」は小学校で14校ありこのうち5学級以下の過少規模校が1校となっている。中学校では3校が小規模に該当する。また19学級以上の「大規模校」は小・中学校とも各1校となっ



H19年2月竣工の小原小学校

林 勝彦 議員

Q 全国スポレク祭の取組は

A 実行委員会を立ち上げ対応

問 「スポレク滋賀2008」が開催される。甲賀市はバウンドテニスとターゲットバードゴルフを開催するが体制や予算処置について伺う。

教育長 全国スポレク祭は平成20年10月18日から4日間開催され、全国各地から約1万3千人の選手が参加されます。甲賀市は水口スポーツの森でターゲットバードゴルフ、土山体育館でバウンドテニスの二種目に、約千人の選手が参加予定。今後は、種目団体や各種団体と連携を密にして、甲賀市実行委員会を立ち上げ、大会運営のため審判員や運営委員の養成講習会を開催する。市民の皆様には両種目に親しんでいただくよう、体育指導委員会や体育協会と連携、体験教室を開催

し、広く参加を呼び掛ける。リハール大会の予算はリハール開催補助金を当てる予定。

問 多目的グラウンドの更衣室やシャワー設備の設置、貸し出しテント等の補充の計画を伺う。

建設部長 更衣室、シャワー設備は、陸上競技場に設置する計画で、今後建設予定の市民体育館及び付帯施設等全体計画の見直しを平成19年度で行なう。テントは陸上競技場の必要備品含めて検討する。



早期設置が望まれる更衣室

一般質問

特別委員会の動き

橋本 律子 議員

Q 協働、行政支援のあり方

A 支援センター構築検討へ

問 まちの活性化に向け協働のシステムづくり(機構) どう築くか。
① 市民活動支援センターの必要性は。
② 自治会での新たな組織づくりどう築くか。
③ 団塊世代退職後の生きがいづくりへの支援は。
④ 活動拠点の整備(公共施設の利活用) が必然だが。



協働のまちづくりのひとコマ

Q 産廃施設の建設と地域振興策

A 協定書に基づき事業推進に努める

中島 茂 議員

問 産業廃棄物処理施設建設に至る概要について
市長 甲賀・土山地域の皆様には環境への配慮や安全性の確保等ご苦勞頂いたこの苦勞を無にしないようにわれわれの責務として今後も協定を怠ることなく当該地域の安全性の確保を関連機関と連携を取る。
問 産業廃棄物処理施設の建設に伴う地域振興策について
市長 甲賀町と土山町がクリーンセンター滋賀の建設に伴う周辺地域振興策で滋賀県環境事業公社並びに滋賀県



貯留構造物(ダム工)上流側で遮水シート施工中(黒い箇所)

小松 正人 議員

Q 市の同和行政を終結してはどうか

A 人権問題として対処する

問 同和对策特別法は失効した。解同は、法失効後も「人権」の名で事業の継続を迫っている。同和行政の終結こそ、部落差別の解消につながると思うが、市長の考えは。
市長 地区内の生活環境は概ね改善されたが、今尚、差別意識は根強く残っている。人権問題として様々な人権課題に対処すると共に、奨学資金給付制度の一般施策化を図る。
問 宇川改良住宅で入居者が別居中の親族との同居申請をされている。市の審査会にかかる前に、地元の住宅利用者組合が事前審査を行っていると言及んでいる。3ヶ月経っても入居諾否がないのはどういふことか。又、一部に空家があると聞くが、一般市民に開放はで



剪定作業で現れた鹿深ホール

地域情報化特別委員会

地域情報通信基盤の整備検討

地域間の情報格差を是正し、市民の誰もが等しく、いつでも、どこでも情報が得られるように通信基盤の整備について、より詳細な検討が必要なことから、平成18年12月定例議会において、15名の委員をもって構成される特別委員会が設置されました。
今、テレビにおいては地上デジタル化、安全、安心のための情報整備として、地域情報の配信が必要とされています。災害時における市民の安全確保の観点から重要課題と位置づけ調査研究を行うものです。
この情報化の検討については、甲賀市合併時から、企画常任委員会でも、また、平成17年11月から、総務常任委員会にお

いて、勉強会や検討会が幾度となく実施されてきました。そして12月に今日までの経緯を踏まえ第1回目の特別委員会を開催しました。
情報化の基本理念は、甲賀市総合計画を上位計画とし、情報という手段を使い、まちづくりを具体的に実現するための計画として位置づけられます。
市民・企業・行政をネットワークで結ぶことで互いに連携し協働できるしくみを構築し、誰もが等しく情報の受発信できる環境の創出と「人



情報システムの先進地を研修(総務常任委員会で)

広報特別委員会

議会の動き伝わっていますか

甲州市議会と意見交換

なぜ発行する
「議会だより」について、市民の皆さんから要望やご意見をいただくことがあります。
私達編集委員は、常に「誰に、何のために、なぜ発行するのか」を基本に編集作業をすすめています。議会の動きが、わかりやすく伝わり、読んでいただける紙面となっているかいつも頭を悩ませています。
そこで先般、広報特別委員会では、山梨県甲州市議会と意見交換を行いました。
研修での成果を紙面に生かして…

した。甲州市の議会だよりは、広報コンクールで優秀賞を受賞されているところでもあります。
市民とのキャッチボールが大切
合併により広域化してくると、より広報の重要性、役割が大切であることを確認すると共に、ただ一方通行ではなく、市民の声を聞き、返答することに心がけている甲州市の姿勢に感銘。
甲州市議会では「追跡レポート」というコーナーで、議会での質問のその後の対応、改善点などを掲載されていたり、「市民の声」の欄で、積極的に市民が登場、親しみやすい紙面となっていました。「広報も進化していくものであり、決めつけてやる時代ではな

い。」という言葉が印象的でした。型にとらわれないう発想で、編集にあたっておられ、甲賀市議会でも、この考えを積極的に取り入れることにしました。
研修の成果を生かし、前号より紙面が少し変わってきたことにお気づきでしょうか。一般質問の見出しが、問答方式に変更、「市民フォーラム」を新設、対談など企画特集も取り入れ、親しみのある紙面づくりに努力しています。今後とも議会だよりについてのご意見をお待ちしています。
●広報特別委員
委員長 河合定郎
副委員長 松本昌市
委員 野田卓治
小松正人・藤井克宏
木村泰男・舩 藤男
山岡光広

市民フォーラム

スポーツ少年団に市の協力を!



甲南町希望ヶ丘本町
西田 浩

多発する少年犯罪!現代が抱える大問題である。子供達が健全に育つためには、スポーツを通じて心身を鍛え、規則や礼儀を学ぶことに大きな役割がある。長年、甲南剣道スポーツ少年団を指導してきたが、先年その役割を終えた。少しは青少年の健全育成のお役に立てたのだろうか。昨今、残念に思うことは、各スポーツ少年団の団員が減少し、団員募集に苦労している事である。市広報紙等で、各団の活躍や団員募集を掲載してもらおうことが、団運営に何よりの助けとなる。指導者のOBとして、市のご支援を願うものである。

協働で夢の実現に!!



甲賀町大原市場
三浦 浩一

「自分達の終(つい)の住家に強い誇りと愛着を持っている」~こんな市民が本当に数多くいること。これが、甲賀市の最も誇れる個性である。合併後、様々な分野でまちづくりを真剣に考え、熱く語る人に多く出会い、改めて思うことでした。この4月より「総合計画」がスタート。市民・行政・議会が協働にて、自分達の新しい市を創り上げ、発展させる作業が始まりました。あらゆる面にてポテンシャルの高いこの地域で、「後代に誇れる夢のある市」づくりに、市民みんなで力を合わせ続けたいものです。

愛甲賀にシルバーも一役を!!



信楽町長野
田中正臣

統一地方選挙の年に当り思うことは、甲賀市の総合計画の基本が策定されようとしています。団塊の世代のシルバー化と併せて、高齢者の健康増進、生きがい対策の推進のため、働く場所の提供や、自立支援の促進等、生涯現役の地域づくりを主要施策と位置づけられようとしている事は誠に嬉しい限りです。然し現実には予想外に厳しく公共の就労機会は年毎に減少する中で、民間受注の実態も経済不振と共に厳しく、健やかに老いたい元気高齢者の前途は、不安の一途をたどっています。是非高齢者支援にご協力を期待しています。

「新しいまちづくり」に思う



水口町新町
西村 三喜枝

今、新たに「まちづくり」が叫ばれています。私も過去四年間「中心市街地活性化基本計画策定委員会」に参加させて頂きました。その中で思う事は、市の担当者がその度に振り出しに戻る事。そして、出席者の年齢層が高い事です。今後その知恵や経験を伝え、共に働いて頂く若い方の参加が必要です。また、何よりもこの計画には「リーダー」がもっと必要。長浜のまちづくりや愛東マーガレットステーションの成功の秘訣は何にあったのでしょうか?人は歳をとります。人の熱意と「まちづくり」の風が吹く今の絶好な機会を逃す事なく、民で出来る事は民の力で、また市ですべき力をもっとお借りして、「新しいまちづくり」を速やかに実行して頂く事を強く希むものであります。

開けたいまち・守りたいまち



土山町頓宮
廣沢 晃

第二名神の開通の日が見えて来ました。提示されてから16年が経過しています。地域が大きく変わる様を見つめていないで、地域の夢描きをしようと取り組んだのがこの時期です。そして願いを「開けたいまち・守りたいまち」というやさしい言葉で表しました。過日行われた第10回を迎えた「あいの土山斎王群行」の再現もその一環です。これらの夢がどのように、いつ実現するのかわかりませんが、ささやかな行動でもいい、つなげていかなければならないでしょう。市民の参加は当然の事ながら、市行政・市議会の方々の積極的な先導を強く期待するものです。

組合議会の動き

行政組合

増加するゴミ処理費

甲賀広域行政組合議会の、平成19年度第1回定例会議が3月28日に開催され、専決処分3件、条例制定1件、条例の一部改正3件と、平成19年度甲賀広域行政組合の一般会計予算が審議され、全議案全員賛成により承認可決されました。

一般会計予算は36億2千万円

平成19年度甲賀広域行政組合一般会計予算は、36億2005万円、前年度より、3600万円余りマイナス予算となっています。

主な歳入

・甲賀市・湖南市分担金 30億4686万円

・清掃・消防手数料 4億4338万円
・消防庁舎土山分行署建設費用 6750万円
(来年3月の第二名神高速道路の開通を控えての建設費用です。)



資源の再利用も必要に(甲賀広域行政組合衛生センター)

主な歳出

・総務管理費 9984万円
・衛生費 11億824万円
(し尿処理費1億977万円、ごみ処理費3億8516万円、清掃総務費9億1330万円などです。)

・消防費 15億3417万円
(常備消防費13億6603万円、消防庁舎建設費9359万円などです。)

清掃手数料における滞納の現況、し尿処理問題のフォロー状況に関する質疑もあり、一般質問では甲賀市議より、消防職員の現況と今後についての質問もいたしました。

病院組合

地域に密着した病院に

3月28日、第1回定例会が開催され、平成19年度予算、並びに18年度補正予算の審議があり認定可決されました。

また公立甲賀病院組合情報公開条例と、個人情報保護条例も認定可決されました。

平成19年度の歳入歳出予算総額は、36億2000万円です。

産婦人科棟が新装オープン

お産は、新しい家族の誕生です。家族といっしょにその新しい命を迎えるための施設として、産婦人科棟(B3病棟)が、この3月より新しくなりました。

医療機械の購入
●全身用X線CT装置
●医療会計システム導入などです。

個室6室と分娩室などをリフォーム、さらに家庭的な雰囲気を出産ができる個室分娩室も新設。自然な

新病院は選定協議中
新甲賀病院の建設整備については、現在の病院地から5km圏内、本格的な候補地

選定を行っているのとことです。しかし、その予定地については発表段階ではなく、検討委員会での選定協議中とのことでした。



個室分娩室 (LDR)



かたちでのお産を基本に、医学的な治療の必要が生じた時には、総合病院である特性を活かし、各科専門医が連携をはかり、迅速に対応するシステムがとられています。

病院の動向

患者数(1日当り)	
入院	351人
外来	1,016人

くろぎこうか

Vol.6

水口 大池寺 蓬莱庭園あたり



さつきの七宝と七福神 (春)

市街地に発展した水口町名坂。その北の奥に名刹、龍護山大池禅寺(大池寺)があります。春の行楽シーズンを迎え、今、静かなブームの大池寺。今回は、さつきの蓬莱庭園と周辺の「心字の池」の見どころを紹介します。

S字状の参道をゆくと

歩いてS字状にくねった参道をゆくと急に静寂に包まれ、名坂の街の喧騒が嘘のようです。途中の案内板にはさつきの「照り葉」の説明があり、やがて視界がパツと開け正面に本堂が現われます。左側には、「平成の

松」がグー



カスミサンショウウオの卵塊

ンと本堂に向かって伸びており、山門を潜って右に回ると開山臥龍の松が迎えてくれます。ただ今、庫裏の建設中

通常の訪問は、玄関から庫裏に上り、座して臥龍の松を鑑賞しますが、今年、本堂の左側から入って書院に回り「蓬莱庭園」をみるコースとなります。

「心字の池」の周りは生物と自然がいっぱい

大池寺の周りに配置された大小四つの池は、空からみると「心」の字になっていて心字の池と呼ばれます。

「今池」には睡蓮の花が

参道を右に折れると今池には、睡蓮の花が見事です。

「弁天池」にはじゅん菜

参道を左に折れると弁天池に出ます。池の奥にだ円形の

葉のじゅん菜が自生します。「菖蒲池」には

野鯉やタモロコが

春先の繁殖交尾期には雄・メスが群がり、種の保存セレモニーが観察できます。

「北丘尼池」では牛蛙が恋をささやく

繁殖期は、ブーブブーと夜通しやかましい鳴声ですが、風流でよいという人もいます。

今池や弁天池の周りには散歩路があります。庭園をみたあとには、心字の池あたりをゆっくり散歩をしませんか。



大池寺周辺のイラストマップ

編集後記

- ▶ 昨年3月議会報告(No6号)から『市議会だより』の表紙写真を担当、取材しています。子どもたちの生き生きとした表情、眼差し。その輝きを250分の一秒の世界に写し撮るのは、大変なことです。
- ▶ 市の予算も厳しい財政のなかではありますが、キラリと輝く施策が必要です。それが甲賀市らしさかも知れません。

(広報委員 山岡光広)

ニュースの目

甲南中に屋内運動場

スクールカラーのえんじ色を基調とした屋内運動場が甲南中学校に完成。一階はアリーナが中心だが、二階部分に剣道、柔道場を設けたのが特徴となっている。市の耐震化促進計画に基づき整備しているもの。



完成した甲南中学校屋内運動場